

7
29-30 夏の安曇野に舞う



YOSAKOI安曇野(7/30)。
思い思いの踊りを披露。

7月29日には「あづみの祭り」が、そして29日から30日にかけて「信州安曇野わさび祭り」がそれぞれ開催されました。

あづみの祭りは、豊科駅前通り周辺で行われ、豊科の分館や企業など43連・3,300人が参加しました。今年は安曇野市となって初めての開催ということもあり、旧町村の特徴を意識した山車が見られました。また、踊り連コンテストでは、豊科サティと新田分館が最優秀賞を受賞しました。

信州安曇野わさび祭りのYOSAKOI安曇野には、地元や県外から33チーム1,500人が参加しました。路上では、揃いの衣装や個性的な踊り・パフォーマンスがそれぞれ披露され、沿道からは盛んな拍手が送られました。また、今回から設けられた「みんなで踊ろう安曇節21」連へ、各チームや見物に来ていた皆さん、スタッフも参加し、踊りの輪がさらに広がりました。

あづみ野祭り(7/29)。
「あづみ野ばやし踊り」は、老若男女が盛り上がる。



福岡市東区の子どもたちと交流(8/1~8/4)。明神池で穂高神社の船に揺られる。



真鶴町との青少年交流(8/4~8/5)。
烏川の冷たい水におおはしゃぎ。



7
27~ 自然を満喫!
夏休みの思い出づくり

市内では、7月下旬から小中学校が夏休みとなり、安曇野の豊かな自然を体験するイベントが数多く開かれました。

明科では、長峰山にある天平の森を中心に、安曇野の山・川・空など自然の中で過ごす2泊3日のサマーキャンプ「明科みっけ隊」が行われ、明科の小学5・6年生39人が参加しました。火おこし体験や竹の食器づくり、熱気球体験など、普段の生活ではできない体験をしました。

また、穂高と堀金では、交流都市である福岡市東

区と神奈川県真鶴町から小中学生が訪れ、それぞれ交流を深めました。

福岡市東区との交流は、弥生時代に現在の福岡市一帯で勢力を誇っていた「阿曇族」が、安曇地域に移り住んだという伝説がきっかけとなり、平成3年から旧穂高町で始まった青少年交流です。今年は35人の子どもが国営アルプスあづみの公園や上高地の穂高神社奥社を見学しました。真鶴町との交流は平成7年から旧堀金村で始まったもので、今年は75人の参加者が烏川での水遊び、キャンプファイヤーなど、安曇野の自然を満喫し、海と山の若者同士が交流を深めました。

7
3 犯罪のない明るい社会を

7月は、社会を明るくする運動、薬物乱用防止および青少年の非行問題に取り組む全国強化月間として、市内で啓発活動が行われました。

7月3日、市内11の駅と堀金保育園では朝の通勤通学時間に合わせ、保護司会や育成会など関係団体の役員らが、ティッシュを配りながら活動への理解を呼び掛けました。



7
22 安曇野市の協働って何?

市では、協働の在り方を研究し、実践活動を行う「安曇野市協働のまちづくりワークショップ」を開催しています。2回目の開催となった7月22日は、参加者が6グループに分かれて、協働のまちづくりの課題分析を行いました。このワークショップは9月まで行い、その後協働に関する啓発事業を行う予定です。

